

# サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 御中

提出日:令和 7年 1月 21日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300110			
事業所名	ケアホーム・里の手			
法人名	医療法人 英然会			
代表者名	里見 隆彦			
事業所所在地	(〒871-0024) 中津市中央町 1-8-29			
担当者名	堀江 剛			
連絡先	電話	25-3100	FAX	25-3105
	mail	satonote@eizenkai.jp		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	実施日:令和 6年 11月 15日
-----------------	-------------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表……………公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価……………公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表……………公表

看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価……………事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価……………事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価……………公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
------------------	-----	-------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、
-------------------	------	--------------------------------

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	5	0	0	9

前回の改善計画	新規の利用者への対応は、利用開始前に情報をスタッフ全員が把握し、声掛けや気遣いが上手くできるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始する前の情報収集を申し送りノート等使用しスタッフ間で共有するようにし、声掛けや支援を行っている。新規の方には特に寄り添い、会話を行う様心掛けている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	3	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	4	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の好きなことや好きな食べ物、趣味等を理解し会話やレクリエーションに活かしている。利用者の情報を把握し不安がないように職員間で共有している。家族、職員、ケアマネジャーから得た情報を把握し対応している。得た情報をミーティング等で共有し利用者の方を理解したうえで業務を行っている。気をつける点等も声掛けし合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用者とのコミュニケーション不足なところがあった。家族、介護者の不安を受け止め、関係作りの配慮が不十分だと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規の利用者や家族とコミュニケーションをしっかりとって、利用始めの不安が早く取り除けるような関係を作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	0	0	9

前回の改善計画	ミーティングの中で個人のケアプランの課題や目標を確認し、サービス内容について何ができるかということ話し合うことで、目標をしっかりと把握できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングや普段の業務時から利用者がしたいこと、目標を確認することができている。ケアプランや目標はバインダーに挟んであり、変更等があれば随時記入されているのでミーティングの中や申し送りで共有できている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	6	1	0	99
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	1	0	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	3	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日常より利用者の観察をして、ミーティングや管理者に相談し話し合いを行っている。介護計画やケアプランを確認し、また会話の中で本人の希望が出れば他スタッフに申し送りし共有し活かせるようにしている。ミーティングや申し送り等で自分の感じたことや気になったことを伝えている。利用者1人1人の介護計画を確認し、本人の目標を理解している。普段の生活の様子を観察し、変化等あればミーティング、申し送りで共有できている。利用者の誕生日前には要望を聞き、食べたい物などを献立に活かすことができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
時々、チェックミス等がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個人のケアプランの課題や目標を分かりやすい形にしてスタッフ全員が意識しながら日々のかかわりができるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
------------------	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、
------------	------	--------------------------------

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	6	0	0	9

前回の改善計画	ミーティングの中で本人や家族から得た、利用者本人の情報、以前の暮らし方について、話し合い共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族、利用者とのコミュニケーションをとり、変化がある場合は申し送りノートやミーティングで共有することができている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	4	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	3	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	2	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の訴えや体調の変化に気づいた時はスタッフ間で共有し対応できている。スタッフ内で利用者の思いや体の変化について把握し、変化に気づくように寄り添い、会話などでも体調を観察している。利用者1人1人に合わせ適切な介護ができていると思う。本人の気持ちに寄り添うため職員内で情報を共有できている。利用者の気持ちや体調面の変化についてはスタッフ内で良く話ができている。変化があれば申し送りノートに記入したり、ミーティングの中で話し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の生活や職業、どこにいたか等、確認はしているが10個以上となると把握できているか不安がある。本人の体調の変化について支援できない部分があった。以前の暮らし方が10個以上挙げられない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人や家族とのコミュニケーションをとり、以前の暮らし方について今以上に情報がいただけるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	5	0	0	9

前回の改善計画	利用者本人の自宅での生活スタイルを把握するため、本人、家族との会話の中で情報を収集し、スタッフ全員で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者にあった訪問支援をする事ができた。利用者、家族との会話、ミーティングで情報を収集し職員で共有し支援をしている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	0	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	1	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	1	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	7	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1人暮らしの利用者から近所の方から支援があると聞いている。家での生活スタイルや家族、地域とのかかわりを利用者との会話の中で引き出すことができている。施設の中での支援はできています。季節の行事はなるべく人の少ない所を選びドライブや見学をすることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルスの影響や熱中症の影響もあり地域との関りが出来ていない。地域とのつながりの情報や行事等の情報が早く収集できていなかった。民生委員や地域の資源等、把握できていない。家族、地域に直接的にあまり関わることがないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族や地域との関わりを増やし、利用者本人が今の暮らしを出来るだけ長く続けられるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	1	0	9

前回の改善計画	新型コロナウイルスの影響で地域とのつながりが希薄になっているが、できる限り地域資源を利用し支援ができるよう資源の把握、共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者に合わせた地域資源を活用することができた。他事業所や外来とやり取りを行ったり、福祉用具のレンタルや家族や地域の方の協力を受け支援できている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	2	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	2	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	4	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	3	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の体調に合わせ訪問、宿泊、通いサービスを提供し対応している。利用者の小さな変化も逃さないように日々の出来事など職員間で共有している。利用者のニーズに合わせて適切なサービスを提供することができる。利用者1人1人と会話などでコミュニケーションを取り、体調等に応じて情報共有し常に変化に気づき、利用者に合わせた柔軟な支援ができるよう心掛けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の資源を使っただけの支援が感染症あるため困難になっている。地域資源ができる事とできない事があった。地域の資源を使っただけの支援ができているのかわかりません。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域資源についての理解を深めて、地域資源の把握、活用が今よりもできるようにしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、
----------	------	--------------------------------

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	0	9

前回の改善計画	I C Tを活用し参加した会議等で話し合った内容をスタッフ全員で共有できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	オンラインを利用して会議を行い、その内容をミーティングで話し合っている。防災訓練は定期的に行っている。ケアマネジャーを通して共有することができている。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	3	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	2	2	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	5	2	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	3	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人に必要であると思われる事などは、スタッフに相談することが出来ている。地元中学性による職場体験や地元の祭りなどを通して地域とのかかわりをもっている。防災訓練等定期的に行っており必要に応じて共有できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会議には参加できていない。会議等に参加した経験がありませんので、その他のサービス機関とも直接お会いして交流をもったことがありません。新型コロナウイルスの影響でイベント等への参加、地域との関りができていない。I C Tを活用することが難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) その他のサービス機関との会議に今よりも多くの職員が参加できるよう、I C Tの活用も含め体制を作っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
7. 運営	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	1	1	9

前回の改善計画	新型コロナウイルスの影響で地域との共同した取り組みは難しいが、状態が落ち着けば今までおこなってきた夏祭りなどのイベントを再開していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスの影響が続いていたが、地域の方の協力で傘鉾等のお祭りには参加することができた。地域と協力して行う夏祭りを再開する予定だったが、夏前からの新型コロナウイルス増加もあり中止になった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	3	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	1	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	6	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎の際、御家族との会話の中で意見を聞いている。地域のお祭りで施設の前に通って頂いたりしている。本人、家族の意見、苦情についてはスタッフ、管理者に伝えて会議を行い、早急の対応をしている。自分の考えを職員内、上司に伝えることができている。ミーティングで職員として意見が言え皆で話し合っている。傘鉾など地域のお祭りの際は皆で写真撮影や見物をする事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所の在り方についての意見は言えていない。夏祭りなど地域との協働した取り組みができなかった。利用者、家族、介護者の方々からなかなか意見や情報は聞けていない。新型コロナウイルスの影響で地域との取り組みが難しくなった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルスの影響で地域との共同した取り組みは難しかったが、状態が落ち着いてきたため今までおこなってきた夏祭りなどのイベントを再開していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	1	0	9

前回の改善計画	オンラインを含む研修や会議をスタッフ全員に周知し、より多く参加できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職場内やオンラインでの研修に参加して業務に活かせるようにしている。定期的に研修に参加したり、会議の内容を文書で確認している。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	1	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	5	1	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
院内研修で資料を見て確認することができた。法人や職場内の研修に参加している。ヒヤリハットや事故報告書を記録してリスクマネジメントに取り組んでいる。職場内でミーティングを行い、その中で研修等が出来る。法人の職場内での研修への参加はできている。危険を回避できるよう、リスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会等に参加する機会がなく参加できていない。職場外の研修に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修案内等の周知を行い、職場外の研修により参加できるようにしていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月24日(19:30~20:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	堀江、田中、安永、太神 吉田、今池、下畑、中嶋、武本、

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	6	0	0	

前回の改善計画	引き続き成年後見制度が必要な方が利用された場合に備え、今後も定期的に研修に参加し制度の理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的に成年後見制度の資料研修をしている。研修資料で勉強し、意識しながら接することができる。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	0	0	0	9
②	虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	9	0	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	0	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	0	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待は行われていない。利用者の状況や変化などスタッフの間で共有し質の向上に努めている。成年後見制度の資料研修には個人ファイルを見て個人情報把握し理解することができた。身体拘束、虐待については定期的な研修、ミーティング等で確認し、防止に取り組んでいる。職員同士で気づいたことは声を掛け合っている。利用者の人権を尊重したうえで接することができる。プライバシーや個人情報管理は適切に行われている。利用者の個人ファイルを見て個人情報把握し業務に活かしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今後もトイレ介助や入浴時には必要のない露出はさけようと思います。又、入浴後はバスタオル等で体をおおう等して相手の立場にあった介助をしようと思います。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度が必要な方が制度を適切に利用できるよう、今後も定期的に研修に参加し制度の理解を深めていく。	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 英然会	代表者	里見 隆彦	法人・ 事業所 の特徴	母体が診療所であり体調悪化時や急変時などの対応ができ安心した暮らしができるように医師と連携を図り、最期までご自宅で暮らせるように看取りケアの取り組みも行っている。 また、事業所では利用者、御家族の方が笑顔で安心して過ごせるように1人1人のニーズに合わせて問題点を共有し家庭的な雰囲気介護支援が行えるようにしている。
事業所名	ケアホーム・里の手	管理者	堀江 剛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員が課題を把握し目標に向かって同じ方針で行えるようにミーティングを通して共有していきます。	自己評価を行った後ミーティングを通して確認や反省等を行い、改善につなげている。一部自己評価内の言葉について十分に理解できていないことがあった。	自己評価を全員で行い、ミーティングで確認しているのはわかりました。よくやっているのは分かっています。	自己評価の改善計画や評価内容について分かりやすく説明し、正しく評価ができるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルスの影響もまだ残っているが、玄関周りを明るくし、相談等ある時は立ち寄りやすい雰囲気づくりを続けていく。	新型コロナウイルスの影響で、施設内に入るのは制限させていただくこともあるが、できる限りご家族との面会等ができるよう玄関スペースの活用を行った。	玄関周りは明るくなっているようです。写真で確認しましたがきれいにしていると思います。施設周囲は猫が多く、排泄物の臭い等が気になります。	玄関前に花などを飾り明るくして、より立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き、地域の方に事業所の活動等を知ってもらうため、挨拶を継続し交流を深めていく。	近隣の方への挨拶はできています。秋祭り等のイベントは計画されていましたが新型コロナウイルス感染の増加で今年も再開できなかつた。	いつ行っても職員さんは気持ちよく挨拶してくれます。	秋祭り等のイベントを地域の方と共同で行う。地域の方に事業所の活動等を知ってもらうため、挨拶を継続し交流を深めていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルスの影響あるが、運営推進会議を出来る限り開催し、地域の方に事業所の活動内容を知っていただけるようにする。	昨年の11月より運営推進会議を再開し、地域の方に活動内容等を知っていただく機会を作ることが出来た。	イベントを色々とやられているのはわかっています。秋祭りはできなかったが、地域の方の協力で傘鉾等の行事には参加ができていた。	外出行事などで利用者が地域の名所を訪れたり、イベントに参加できるよう支援を継続していく。
E. 運営推進会議を生かした取組み	運営推進会議で状況が分かりやすいよう写真等を見やすくし、より多くの意見をいただけるよう努めていく。	行事や火災訓練等の取組を写真で運営推進会議の委員の方に見ていただき、意見をいただくことができた。	運営推進会議の前回の改善内容等を、別紙につけてくれると取り組みがよりわかりやすくて良いと思います。	運営推進会議で地域の方から頂いた意見を参考にし、改善したところはわかりやすい形で説明できるよう努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	消防署の協力のもと、防災や災害に対しより実践的な訓練を行っていきます。	消防署の方の指導もあり、今までよりも実践的な訓練ができています。	里の手の防災訓練に参加したことがあります。洪水時は里の手よりも2階建ての有料老人ホームやグループホームが頼りになります。	消防署の協力のもと、防災や災害に対する夜間を想定した訓練についても、より実践的に行っていきます。